

①

令和2年度
11月補正予算(案)のポイント

令和2年11月10日



令和2年度11月補正予算(案)のポイント

令和2年度11月補正予算(案) 11億6,488万円(一般会計11億4,096万円)

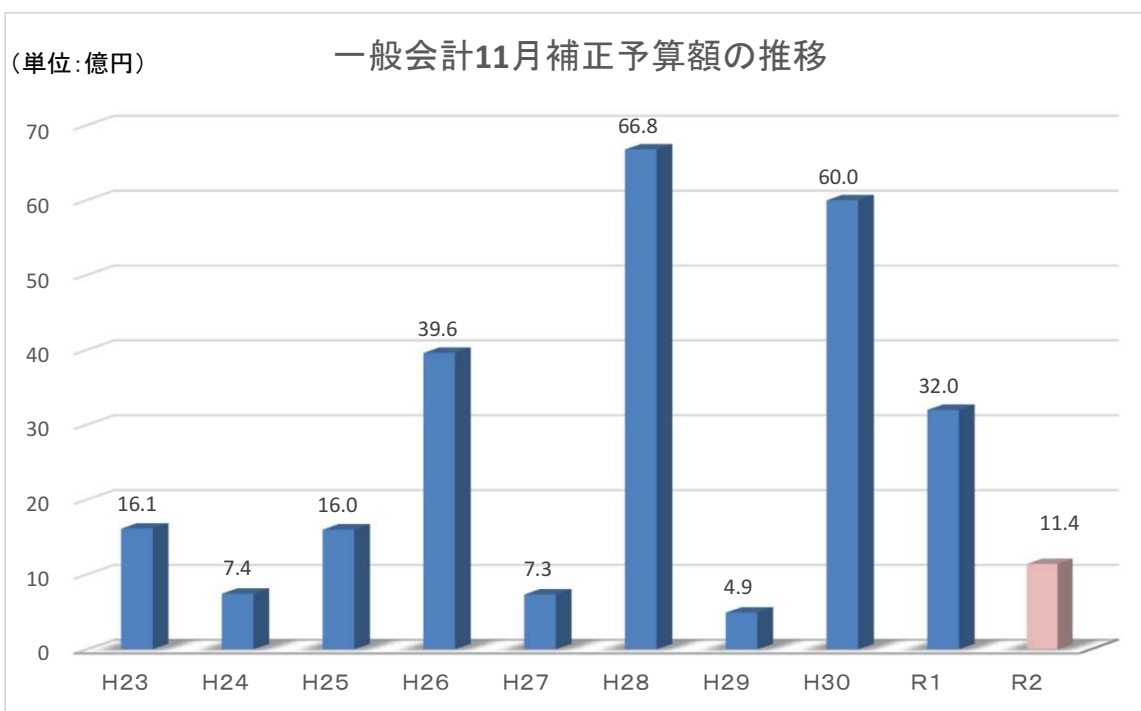
「海洋文化の拠点づくり」を中心に、「安全・安心なまちづくり」、「教育環境の充実」などの取組について予算を編成。

1 予算(案)の規模

- ★ 一般会計の補正予算規模は約11億4千万円の増額で、前年度と比較すると約20億6千万円の減少。
- ★ 「海洋文化の拠点づくり」に約3億4千万円、「安全・安心なまちづくり」に約7千万円、「教育環境の充実」に約2億円を計上。また、精算に伴う過年度の国県補助金の返還として、約3億1千万円を計上。

(単位:千円)

区分	令和2年度 11月補正予算額	令和元年度 11月補正予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	1,140,965	3,204,121	△ 2,063,156	△ 64.4
特別会計	23,920	—	23,920	皆増
企業会計	—	23,761	—	皆減
合計	1,164,885	3,227,882	△ 2,039,236	△ 63.2



※一千万円未満は四捨五入

2 予算(案)の財源

- ★ 特定財源は、主に学校施設環境改善事業などに伴う国県支出金や市債を活用。
- ★ 一般財源は、減収が見込まれる市税を減額する一方、減収補填債、猶予特例債を活用するほか、令和元年度の決算剰余金(繰越金)を財源とした。




3 主要事業のポイント

(A) 海洋文化の拠点づくり

338,665 千円

- ★ 清水みなとまちづくりグランドデザインにおけるリーディングプロジェクトのひとつである、「三保海岸地区」において、海洋レクリエーションの活性化や回遊性の向上を図り、三保半島の海の玄関口として新たな賑わい拠点となる「ビーチステーション」の整備を支援。
- ★ 国・県と連携して実施している清水港の港湾整備事業において、日の出、江尻、興津エリアの整備を促進。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 三保内浜マリンリゾート拠点 形成推進事業費助成 	三保エリアにおける公益機能を備えるビーチステーションの整備に対する助成。 ・交付先 水上バス三保棧橋周辺において公益機能を担う事業者 ・対象経費 待合スペース、公衆Wi-Fi等の整備費用 ・補助率 1/2 上限額5,000千円 ・開設日 令和3年4月を予定 ・ビーチステーションの公益機能 海洋スポーツの振興、観光情報の発信、水上バス等の待合、内浜の安全管理	5,000
2 清水港港湾整備事業費負担金 (財源:市債)  	国・県による清水港港湾整備事業の事業費の増額に伴う負担金の増額。 ・事業費 全体事業費 5,199,808千円 市負担分 705,374千円 ・実施事業 日の出岸壁改修事業 日の出埠頭道路改良工事 江尻地区船揚場改良工事 興津小型船船溜り整備事業 など	333,665



ビーチステーションの整備想定箇所

(B)安全・安心なまちづくり

69,802 千円

- ★ 中心市街地における悪質な客引き行為を禁止し、市民が安心して通行できる生活環境を確保するため、警察、商店街、大学と連携した周知啓発や巡回指導を実施。
- ★ 本市における救急医療体制を確保するため、病院群輪番制病院が実施する設備整備を支援。
- ★ 新型コロナウイルス感染症の影響により、増加している生活困窮者への支援として住居確保給付金事業を増額。

(主な事業)

(単位:千円)


事業名	主な概要	金額
1 客引き行為等対策事業 	「静岡市客引き行為等の禁止に関する条例」(令和3年1月1日施行予定)の制定に伴い、市民への周知啓発や客引き行為等禁止区域における巡回指導を実施。 1 周知啓発 ・取組内容 協力店舗へのステッカー掲示 大学へのポスター掲示、SNSを活用した啓発 大型ビジョンを活用した周知 など 2 巡回指導 ・開始日 罰則適用される令和3年4月1日から	1,000
2 病院群輪番制病院設備整備事業費助成 (財源:県補助金2/3) 	本市の二次救急医療を担う病院群輪番制参加病院が行う設備整備に対する助成。 ・交付先 清水厚生病院 ・補助率 10/10 ・補助対象 ビデオ内視鏡システム	10,802
3 生活困窮者住居確保給付金事業 (財源:国庫負担金3/4)  	安定した住居を確保し、就労自立を図るため、住居確保給付金を支給。(6月補正予算の拡大) ・対象者 離職、廃業から2年以内の者 就労状況が離職、廃業と同等程度の状況にあるもの ・上限額 単身世帯 月3.9万円、2人世帯 月4.7万円 ・給付期間 原則3か月(最大9か月)	8,000

(C)教育環境の充実

197,600 千円

- ★ 安心で快適な教育環境の更なる充実を図るため、小中学校校舎トイレの改修を実施。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 小中学校校舎トイレリフレッシュ事業 (財源:国庫補助金1/3、市債) 	老朽化が著しく衛生的な環境の保持が困難なトイレを清潔で快適なトイレに改修するための設計及び工事を実施。 ・改修内容 トイレの洋式化、床のドライ化等 ・実施校数 (当初予定) (現在予定) 小学校 7校 → 11校(清水岡小学校など4校増) 中学校 6校 → 7校(藁科中学校1校増)	197,600